

地図	教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果		
	東書		
<p><b>1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>教科書の図表と関連付けられている資料が多く、一つの事象を異なる視点からとらえた資料や異なる表現方法で示した資料が掲載されており、多面的・多角的な考察ができるように工夫されている。テーマ資料が多用され、特に近畿地方では歴史的背景が理解しやすく、国土や歴史に対する愛情を深めることができる。巻頭に地図帳の活用方法についての説明が具体例を挙げながら説明されており、地図の使用方法が詳しく紹介されている。また、関連ページが「ジャンプ」の項目で示されていたり、「注目したい記号」の項目で地図を見る際のヒントが提示されたり、知識の習得や理解を深めることが生徒主体となって行えるよう工夫されている。学校の授業だけでなく、家庭においても使用でき、学力の向上につながるよう配慮されている。色覚に特性をもつ生徒や小さな文字が読みにくい生徒など、さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるよう、主題図やグラフでの色使いや字体などが工夫されている。&lt;①②③④&gt;</p>			
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>日本周辺の拡大図と東端・西端・南端・北端の4島と竹島、尖閣諸島を写真入りで説明し、我が国の領土を明確に示し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。火山・地震をはじめとする自然災害を地図を用いて説明し、ハザードマップを掲載することで、災害が起きた時に命を守るためにできることを学習できるよう工夫されている。また、1枚の地図に砂漠化や熱帯林の減少などの環境問題を表示し、環境の保全について考えることができるよう工夫されている。世界の環境についても4ページの割り当てがあり、生徒の興味関心を引く内容となっている。&lt;④⑤&gt;</p>			
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>世界と日本の関係を表す、人口・資源・産業・貿易・文化など様々なテーマに関して資料図が掲載され、世界と日本の関係を多面的・多角的にとらえられるよう工夫されている。歴史で学習する地名や建造物が統一した色で示されている。また、公民で利用できる資料も多く掲載され、地理的分野での利用だけでなく、歴史・公民的分野での活用を前提に編集されている。地図中や巻末に多数の資料が掲載され、また、それらの資料が「ジャンプ」という項目によって関連付けられているので、生徒自ら資料を読み取って考察し、理解が深められる。世界の各州と日本の各地方について、鳥瞰図が多用され、地図の楽しさや面白さを体感させると共に、自然・産業・人口などの主題図のページが設定されており、基礎的・基本的な知識を習得できるように工夫されている。キリスト教・仏教・イスラム教の三大宗教について、写真や地図を用いて説明しており、宗教に関する教育が行える。&lt;①②④⑥⑩⑪⑬&gt;</p>			
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>製本は糸がかりで、長期間の使用にも耐えうるよう工夫されている。またページの左右両外側にはインデックスがあり、前からも後ろからも引きやすく工夫されている。幅広の版型が使われており、地図が見やすくなっている。全体を通して落ち着いたパステルカラー調の色合いで、カラーユニバーサルデザインに配慮されているほか、国名や都道府県名、地名の表記が見やすいよう工夫され、書き込みがしやすい。世界の国旗が同じ位置に配列されているため、見やすい。&lt;①③&gt;</p>			
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>巻末に多くの資料を掲載しており、関連ページを「ジャンプ」で示して生徒の自発的な学習を体系的に学ぶことができる。巻末の索引は、国名、自然地名を色分けし、調べやすくなっている。また、地図の索引だけでなく、資料や遺跡などの歴史的用語も索引が掲載され、調べ学習に役立つ。地域ごとに、「一般図」「基本資料」「テーマ資料」と統一して構成されており、教科書で学習した基本的な学習を補う豊富な資料が掲載され、基本的な学習と発展的な学習ができるよう配慮されている。&lt;①②③④&gt;</p>			
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>巻末に多くの最新の資料やデータが掲載されており、学習を深められる。また、資料には出典が明記されている。地図の中に多数の資料が掲載されており、資料を活用する機会が多く設けられている。あべのハルカスやグランフロント大阪、東京オリンピックなど、最新の写真の掲載と説明が記載されている。使用されている鳥瞰図は、空から見た地形だけでなく、海中の様子まで描かれており、地形を理解する手助けとなる。また、巻末に「資料さくいん」を設け、地形や気候などの資料の検索がしやすくなるような工夫がなされている。&lt;①②⑥&gt;</p>			

地図	<p style="text-align: center;"><b>教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果</b></p> <p style="text-align: center;">帝国</p>
<p><b>1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</b></p> <p>世界文化遺産に登録された富士山の鳥瞰衛星画像と関連資料が掲載され、日本の文化の理解につながる。また、大阪湾周辺が見開きで掲載され、大阪の区ごとの特徴が見てとれ、さらには大阪の郷土愛を育む学習につながる。「地図を見る目」「やってみよう」で学習課題が提示されており、生徒が自発的に課題に取り組むことができ、学力の向上に配慮されている。世界の諸地域では、生活の様子や宗教・言語についての資料や写真が掲載され、外国の様々な文化やくらしを理解できるよう工夫されている。巻頭に地図の使い方と地図帳の構成についての説明があり、地図帳の活用方法を具体例をあげて説明している。また、巻末には世界の都市と日本の都市の索引が掲載され、テレビやニュースで目にする地名を自ら調べることができる。以上より、学校における授業時間内だけでなく、家庭においても自主的に地図を調べることができ、学力が向上するよう配慮されている。色覚に特性を持つ生徒でも色を判別して地図が読めるように、色彩表現が工夫されている。&lt;②⑦⑧⑩&gt;</p>	
<p><b>2. 教育基本法に基づく観点</b></p> <p>防災マップや模式図の2種類の資料を対比させ、自然災害から生命を守る大切さを考えることができる。阪神大震災や東日本大震災での教訓を生かし、災害に備えた工夫が描かれている。また、地図中に「世界自然遺産」や「貴重な動物・植物」の絵が描かれており、環境への関心を高められるように工夫されている。「琵琶湖の透明度の変化」など、教科書と関連付けられた資料も掲載されている。日本周辺の拡大図と東端・西端・南端・北端の4島、竹島、尖閣諸島を写真入りで説明し、我が国の領土を明確に示し、他国との位置関係を理解させ、我が国と郷土を愛する心を育てられるよう配慮されている。&lt;④⑥&gt;</p>	
<p><b>3. 学習指導要領に基づく観点</b></p> <p>自然・産業・くらしに関する資料が地域（世界の州、日本の地方）ごとに配置され、それぞれの特徴が理解しやすいよう工夫されている。また、地図のいたるところに鳥瞰図や立体的な図が多用され、平面的な地図を眺めるだけでは読み取りにくいことを容易にイメージできるように工夫されている。ほかにもイラストや絵がたくさん掲載されており、全体を通して、地図の楽しさや面白さを体感できるよう編集されている。日本の地域別地図では縮尺が統一されているため、各都道府県のひろがりや面積の把握、それぞれの比較が容易である。また、世界の一般図においては、同緯度・同経度の日本が示されており、世界各地と日本の比較がしやすくなるように工夫されている。地図帳を活用するための方法や地形図を読み取るための具体的な手順が示され、地図帳活用の技能や地形図の読解力を身に養われるよう配慮されている。歴史で学習する地名や建造物が統一した色で示されている。また、公民で利用できる資料も多く掲載され、地理的分野での使用だけでなく、歴史・公民的分野の活用も前提に編集されている。&lt;②③④⑥⑧&gt;</p>	
<p><b>4. 外的要素に関する観点</b></p> <p>糸かがりした上で糊付けされ、さらに寒冷紗でくるまれており、3年間の使用に耐えうるよう丈夫に製本されている。また、折込ページの折り目の部分にはニス引き加工が施され、簡単に切れないように工夫されている。文字は、とめやはねなど正しい字形となる書体を使用し、国語での学習と食い違いのないように配慮されている。また、地図中の文字も録取りが工夫され、項目ごとに色分けされており、見やすくなっている。地図は大きくて見やすく、色彩の濃淡が鮮明で、各特色が読み取りやすく活用しやすい。&lt;①②③&gt;</p>	
<p><b>5. 構成・配列に関する観点</b></p> <p>元禄期の大坂・江戸末期の東京の地図、五街道を示した鳥瞰図などは歴史的分野の学習時に活用できる。また、我が国の拡大地図やEU・APECなどの加盟国の表示は、公民的分野の学習時に活用できる。地図の各ページに土地利用の凡例が示されており、開いたページ内で学習が進められるように工夫されている。また、教科書と同じ順で単元が掲載されているため、教科書との併用が便利である。「地図を見る目」で読図の基礎・基本が身につく、「やってみよう」で探究的な学習課題、生徒が主体的に諸課題について考え、協同して学習を進められるように工夫されている。また、「大陸から日本を見わたす地図」が設けられ、歴史を踏まえ、大陸と日本との間の古代からの交流のルートが確認できるように工夫されている。&lt;①②④&gt;</p>	
<p><b>6. 資料その他に関する観点</b></p> <p>巻末に統計資料が掲載されており、地図だけでは学習できない部分を補える。また、それぞれの資料には出典が明記されており、資料も新しいものが使用されている。グラフを色分けしていたり、量を円の大きさで示したりして、視覚的にも理解できるように工夫されている。鳥瞰図は生徒の理解を促し、地域の地形や結びつきなどの特色が一目でわかり、生徒の興味関心を引くとともに学習意欲を高めることができる。教科書に掲載されている表現や記号に統一されているため、併用して学習がおこなえるよう配慮されている。&lt;①②③&gt;</p>	